

三芳水道企業団の情報誌「三水通信第13号」をお届けします。
本号では、企業団の平成24年度決算の概要などを中心にお知らせします。

平成24年度決算が認定されました

平成25年10月21日に開催されました三芳水道企業団議会定例会において、平成24年度水道事業会計決算が認定されましたので、その概要をお知らせします。

平成24年度につきましては、昨年度に引き続き、浄水施設改良工事、配水管布設工事、配水管布設替工事等を実施し、浄水・配水施設の機能向上や漏水防止に努めてまいりました。一方経営面では、給水収益は前年度実績とほぼ同じであった

ことに対し、減価償却費の増加等により費用は増加しましたが、支払利息等の減少と構成市及び県からの補助金交付によって純利益を計上することができました。

今後についても、給水区域内人口の減少や節水意識の向上に伴い有収水量の逓減が見込まれるため、より一層の経営改善及びコストの縮減を推進し、健全な財政基盤の確立に努めてまいります。

●平成24年度決算のあらまし(消費税及び地方消費税を含みます)

水道事業会計は、①収益的収支(水の浄化・配水、水道施設の維持管理、料金徴収に係る経費とそれを賄う料金収入)と②資本的収支(水道施設の新設・改良・更新に係る経費とそれを賄う補助金や企業債などの収入)の2つで構成されています。

平成24年度の収益的収支は21億1,609万円の収入に対し、20億9,911万円の支出でした。

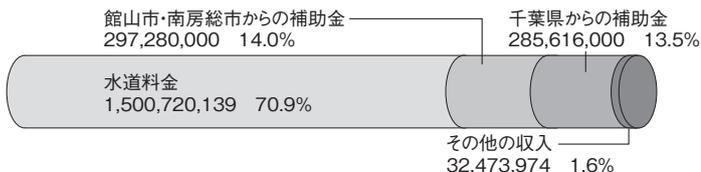
収入の主なものは水道料金15億7,200万円、県及び館山市・南房総市からの補助金5億8,290万円です。また、支出の主なものは受水費(南房総広域水道企業団から水を購入)の9億9,974万円で、全体の約48%を占めています。

資本的収支は、2億699万円の収入に対し、5億9,569万円の支出となりました。収入の主なものは、企業債1億6,700万円、工事等負担金1,961万円、支出の主なものは改良事業費2億9,250万円、企業債の元金返済3億3,320万円です。

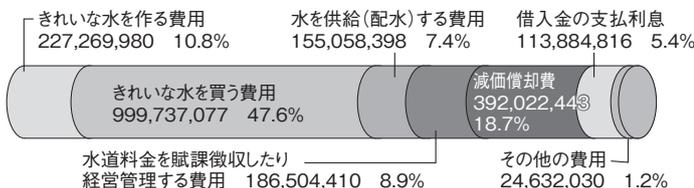
財務諸表など、詳しくはホームページをご覧ください。

収益的収支 (単位:円)

[収入 2,116,090,113]

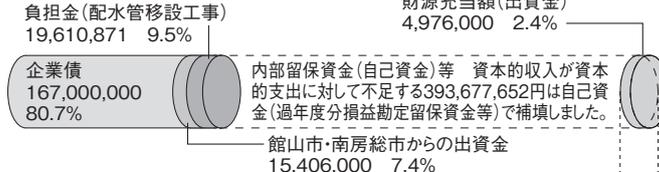


[支出 2,099,109,154]



資本的収支 (単位:円)

[収入 206,992,871]



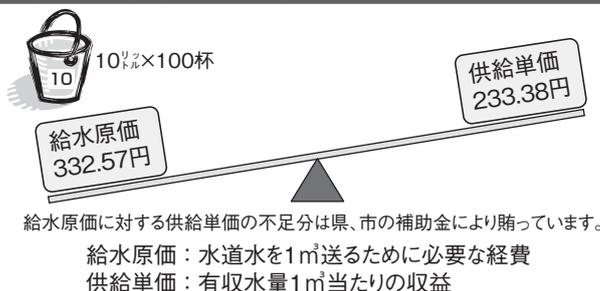
[支出 595,694,523]



平成24年度業務量(平成25年3月31日現在)

給水人口	年度末に給水を受けている人口	56,621人
給水件数	年度末に給水をしている契約件数	27,521件
年間総給水量 ^①	年度中に給水区域に供給した水量	7,768,394m ³
年間有収水量 ^②	給水量のうち料金をいただいた水量	6,124,168m ³
有収率 ^③ / ② × 100	料金収入となった水量の割合	78.8%
一日最大給水量	年度中で最も多く給水した日量	(8月13日)26,360m ³
一日平均給水量	年度中の平均給水日量	21,283m ³

水1m³(1,000リットル)当たりの収益と経費



平成 24 年度三芳水道企業団水道事業会計決算に係る資金不足比率の公表

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき資金不足比率を公表します。三芳水道企業団は下記のとおり、平成 24 年度決算に係る資金不足はありませんでした。今後も、健全な経営に努めてまいります。

■資金不足の額＝①流動負債＋②建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高－③流動資産)－④解消可能資金不足額

(① 195,503,000円＋② 0円－③ 1,528,905,000円)－④ 0円＝△ 1,333,402,000円

※△は資産が上回っているので資金不足がないことを示している。

【参考】流動負債：未払金など通常の取引において1年以内に償還しなければならない債務

流動資産：現金預金や未収金など、原則として1年以内に現金化される債権、貯蔵品など

営業収益：水道料金などサービスの対価としての収入・収益

■資金不足比率＝資金不足の額÷事業規模＝(①流動負債－②流動資産)÷③営業収益の額

(① 195,503,000円－② 1,528,905,000円)÷③ 1,435,237,000円＝△ 0.929

※△は資金不足がないことを示している。よって資金不足比率も△になる。

平成 24 年度の安全対策耐震化工事について

三芳水道企業団の施設整備計画の基本方針等について三芳水道企業団水道事業地域水道ビジョンを定めております。ビジョンの中で安全で良質な水道水の安定的供給、地震等の災害時であっても一定量の水道水の供給を確保するとの基本理念があります。理念による平成 24 年度主要工事(安全対策耐震化工事)の施工状況につきましてお知らせします。

水道施設の整備として、拡張や改良には、ばく大な費用がかかります。この費用の多くは起債(国などからの借入金)でまかっていますが、水道事業の健全な運営に努め内部留保金などから返済しています。

名称	場所	事業の概要	工事の概要
配水管布設替 (市道千代1号線)工事	南房総市下滝田1027番地先 ～同市千代10番地先	老朽管更新事業に伴う配水管布設替	DIP(NS形) φ250mm 239.5m
配水管布設替 (市道千代2号線)工事	南房総市千代66番地先 ～同45番地先	老朽管更新事業に伴う配水管布設替	DIP(NS形) φ250mm 181.3m DIP(NS形) φ300mm 47.4m DIP(NS形) φ350mm 3.5m
配水管布設替 (下水道下町雨水幹線その2)工事	館山市館山932番地先 ～同927番地先	館山市下水道工事に伴う支障移設	DIP(NS形) φ150mm 84.5m DIP(K形) φ150mm 11.9m HIVP φ50mm 5.7m
配水管布設替 (下水道下町雨水幹線その3)工事	館山市館山1039番地先 ～上真倉2343番地先	館山市下水道工事に伴う支障移設	DIP(NS形) φ150mm 95.86m DIP(NS形) φ100mm 5.1m HIVP φ100mm 3.1m
配水管布設替 (下水道23-4工区)工事	館山市館山1474-1番地先 ～同1281番地先	館山市下水道工事に伴う支障移設	HIVP φ100mm 80.77m
水道施設耐震化 (増間浄水場)実施設計業務	南房総市増間523番地	増間浄水場耐震化工事実施設計業務	増間浄水場耐震化工事実施設計 n=1箇所

※ DIP = ダクタイル鋳鉄管 HIVP = 耐衝撃性硬質塩化ビニール

Q 三芳水道企業団の水道施設にはどのようなものがありますか？

A 三芳水道企業団の管理運営する主な施設には、取水施設としては「作名ダム」、「増間ダム」、「山本深井戸」、水を浄化する施設として「作名浄水場」、「増間浄水場」、「山本浄水場」のほか3カ所の浄水場、浄化した浄水を貯水しお届けするための配水場としては浄水場内の配水池に加え、南房総広域水道企業団から受水した浄水を蓄え配水するための「出野尾配水場」と「宮本配水場」があります。

そのほか、給水区域内に張りめぐらされた配水管や加圧所などがあります。

窓口は、三芳水道企業団 施設計画班
電話 0470-22-3782

三芳水道企業団の相談窓口

(平日の午前8時30分から午後5時)

●水道料金や使用者変更、使用開始(中止)などについては…	お客様サービスセンター (電話 0470-25-7311)
●道路などで漏水を見つけたときは…	施設維持班 (電話 0470-22-3783) 夜間等業務時間外 作名浄水場 (電話 0470-23-3097)
●新しく水道を引いたり、水道設備の改造をしたいときは…	業務係 (電話 0470-22-3782)
●水道水の水質については…	浄水班(作名浄水場) (電話 0470-23-3097)

水道工事は館山市水道管工事協同組合加盟店へご用命下さい

組合加盟店一覧

誠意をもって対応します!! 組合事務所 電話 0470-22-6382

館山市		南房総市	
●館山地区 (株)丸高石油(株) 市川住宅設備 ●北条地区 (株)ユタカ設備工業所 (有)市川ポンプ店 (有)山崎設備工業	(有)亀入ポンプ店 (有)高橋農機店 (有)杉山住宅設備 (株)商栄社 ●那古・船形地区 白幡興業(株) (有)八幡電気	高尾設備工業(株) (株)岡部建設 ●神戸・富崎地区 (有)伊勢庄商店 ●豊房地区 千葉精工エンジニアリング(株) 佐野ポンプ店 小金設備工業(有)	●館野地区 共和設備工業(有) 中川設備工業(有) 井上住設 ●三芳地区 (有)山本住設 ●富山地区 (有)青木酸素商店 ●富浦地区 (有)ウェーブタカハシ 高木設備 堀川製作所 (有)真木商店 ●千倉地区 安房住宅設備機器(有)
			●丸山地区 (有)ダンレイメンテナンス ●和田地区 (株)佐久間総合設備 ※有料広告です。広告内容についてのお問い合わせは広告主までお願いします

三芳水道企業団のホームページをぜひご覧ください。水道に関するより詳しい情報が掲載されています。

ホームページアドレス http://www.awa.or.jp/home/pww_344/